
とびらの前に

breakgod

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とびらの前に

【コード】

N1264U

【作者名】

breakgood

【あらすじ】

もう一つのサイトでも掲載しています。

breakgoodっていう名前は変えていないので気にしないで下さい。

あらすじ

普通の高校生である城崎信也が玄関の前にいた女の子といろいろ起こす物語ですww

出会い（前書き）

絶対にコピーなどをしないでください。
著作権はありますので。

出会い

5月11日。月曜日。午前6時23分。

目の前に、1人の少女がいた。

「・・・・・・・・」

無言で扉を閉める。

あつてほしくはないのだが、もし、俺の目が正常であり、寝ぼけていないのであれば、確かに玄関の前に1人の少女が座っているのを見た。

再び扉を少し開け、確かめる。数秒後、まばたきを数回はさみ、閉めた。

「・・・・・・・・うん、やっぱり　　いました。」

ドアの横の壁に背中を付け、膝を抱えて眠っているかのようにコクリコクリと船をこいでいる1人の少女が。

「・・・・・・・・よし、ひとまず落ち着いて現状を把握しようではないか。」

今日は5月11日、月曜日。1週間のうちでもっともだるく、きつい日だ。俺の名前は城崎信也しむらぎしんや。何とも珍しい12月31日生まれ。高校2年生。

両親は海外赴任中で家にはいない。おぼろげだが、昔、俺も一緒に海外に付いていったことがあったが、病弱だった俺はその生活で体調を崩し、家政婦を雇って1人日本に帰っていた。3歳の頃だ。

その時には、1人1つ年下の妹がいた記憶があるが、顔は思い出せない。ということ、妹も両親と一緒に。雇っていた家政婦さんは俺が中学にあがる前にやめてもらったので、俺はこの家に1人暮らしだ。

よし、個人的な情報は間違いなく言えた。頭に問題はなさそうだ。次は今日の行動を振り返ってみよう。

6時10分頃起床。トイレで用を足し、朝食の準備を始めた。メ

ニューはベーコンエッグと昨日かつて置いた菓子パン。至ってシンブルだ。

その後、新聞を取りに行くため玄関に行き、扉を開けた 少女を発見・・・因果関係なし。訳が分からん。

どうして新聞を取りに玄関から出ただけでこんな事に遭遇するのだろうか？

たしかに、高2の5月ともなれば新鮮味の無くなった日々にかしらの刺激というか、ハプニング的なものがほしいとは思うよ？俺だってよく考えてるからね？

けど、いくら何でも『朝起きて 玄関出たら 少女いた』みたいに、それほど大きな刺激は求めてないよ！？

しかも、何で俺の所！？他の人の玄関前で良いじゃん！！そして、新聞やテレビで取り上げればいいじゃん。それだけで近所に住んでる人には十分すぎる刺激だから！！

それとも何ですか？俺を人の見せ物にして楽しみたいんですか？辱められてる俺を見て喜びたいんですか？罰を与えたいんですか！？

神様！！俺が一体何をしたら申すのでしょうか！！

「・・・・・・・・・・はぁ」

ぷすぷすぷす・・・・・・・・・・。頭から煙が出ているようだ。・・・・

・・天罰か。

とりあえず膝を崩し、一通り悶絶、神への疑問をぶつけた俺は立ち上がり、さっきの少女をどうにかするべく玄関の扉を開け・・・・・・
・・ようとしたのだが、手が止まった。止まってしまった。

なぜなら、既に少し扉が開けられていて、さっきの眠っていた（様子の）少女がその隙間から俺を見つめていたからだ。

「・・・・・・・・・・」

「・・・・・・・・・・」

互いに何も発することなく、目と目で見つめ合うこと約3秒。

その少女はやはり何も言わずに、パタンと音を立てて玄関の扉を閉めた。

「……………いやいやいや！！あの女の子何してんの！？って
いうか、俺も何してんの！？」

俺は急いで扉を開けた。

すると先ほどの少女は、ちょうど扉のぶつからないところに立っ
ていて、俺を見つめてきた。とても澄み切ったきれいな目だった。

さつきはよく見られなかった少女の顔は端正で、それでいて幼げ
な顔つきだった。

ただ、そんなことを感じる前に1つだけ言いたいことがある。．．
．．．．言っぞ？せいの、

「キミ、誰？」

「龍宮つづり」

まるで、俺が何を聞くのか分かっていたかのような、ナイフのよ
うな切れの良い返事。

これが、後に衝撃を与えてくれる龍宮つづりとの出会いだっ

出会い（後書き）

あまり更新出来ないと思いますが、よろしくお願いします

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1264u/>

とびらの前に

2011年10月9日09時01分発行